

## 気仙沼湾水質分析結果概要

○調査日時 令和5年12月4日

○概要

- 1) 水温：表層で13.8～17.9℃、底層で14.2～17.8℃の範囲にあった。
- 2) 塩分：表層で33.3～34.4、底層で33.6～34.5の範囲にあった。
- 3) pH：8.04～8.14の範囲にあり、全点で水産用水基準（7.8～8.4）を満たしていた。
- 4) COD：0.2～0.8 mg/Lの範囲にあり、全点で水産用水基準（閉鎖性内湾：2 mg/L以下）を満たしていた。
- 5) DO：7.1～7.7の範囲にあり、水産用水基準（6.0 mg/L以上）を満たしていた。
- 6) プランクトン沈殿量は1.8～5.3 ml/m<sup>3</sup>の範囲にあった。
- 7) 無機栄養塩：各項目は以下の範囲内にあった。

リン酸態リン（PO<sub>4</sub>-P）： 1.5～4.1 μg/L

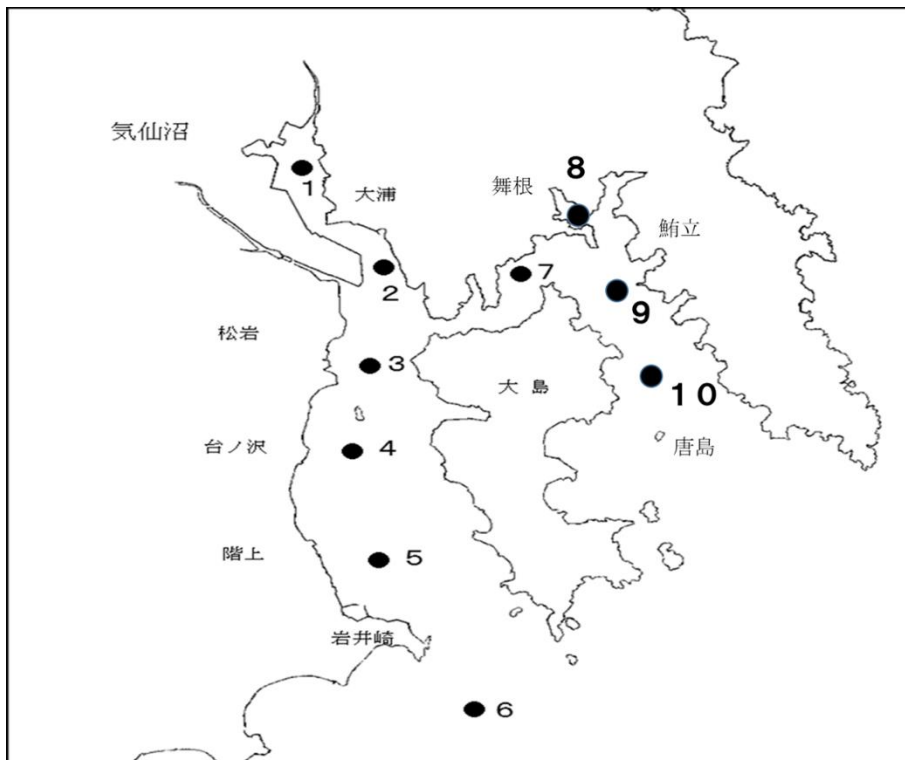
アンモニア態窒素（NH<sub>4</sub>-N）： 1.1～6.5 μg/L

亜硝酸態窒素（NO<sub>2</sub>-N）： 0.6～1.4 μg/L

硝酸態窒素（NO<sub>3</sub>-N）： 4.1～15.4 μg/L

（三態窒素※ 6.9～23.0 μg/L）

※三態窒素とはアンモニア態窒素、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素の合計です。



調査点図

